

18・19歳非行少年は、 厳罰化で立ち直れるか

編集代表：片山徒有（被害者と司法を考える会）

編集委員：伊藤由紀夫・川村百合・佐々木央・佐々木光明・新倉修・八田次郎

編集協力：被害者と司法を考える会 取材協力：全司法労働組合少年法対策委員会

判型：A5判・176頁 定価：2,500円+税

2021年5月中旬発売予定



「生き直すために必要なものは、信頼できる大人」（少年院出院者）
今回の少年法「改正」案は、少年の本当の姿を見ているのか。
少年事件事例などを踏まえて、改正案の狙いと問題点を浮き彫りにする。

●目次

巻頭座談会/厳罰化に大きく踏み出した少年法「改正」

森野俊彦（元家裁裁判官）+伊藤由紀夫（元家裁調査官）+川村百合（弁護士）+八田次郎（元少年院長）+
鄭裕静（青山学院大学）+片山徒有（被害者と司法を考える会代表）

第1部/18・19歳非行少年の現状と少年法改正

新倉修（弁護士・青山学院大学名誉教授）・佐々木光明（神戸学院大学教授）・伊藤由紀夫・八田次郎・
佐々木央（共同通信社編集委員）

第2部/【Q&A】18・19歳非行少年の立直りと少年法……新倉修

第3部/【18・19歳の少年事件事例集】立ち直った元少年たち

第4部/【少年院出院者は語る】痛みを知る人こそ活躍できる社会に

竹中ゆきはる（1971年生まれ。18歳の時、少年院送致。現在、協力雇用主、保護司として、非行少年らの立直りを支援）

高坂 朝人（1983年生まれ。16歳と18歳の時、少年院送致。現在、全国再非行防止ネットワーク協議会代表）

中村 すえこ（1975年生まれ。抗争事件で逮捕され少年院送致。「記憶」を監督。現在、各地の少年院で講演を続けている）

野田 詠氏（1976年生まれ。19歳で少年院送致。現在、NPO チェンジングライフ理事長として青少年の自立支援に従事）

第5部/一言メッセージ集/少年法はもっと生かせる！……各界50名

現代人文社 〒160-0004 東京都新宿区四ツ谷2-10 ハッ橋ビル7階

書籍の内容等に関するの問い合わせ先：編集部 成澤壽信（電話：03-5379-0307）